

高校向け小論文・志望理由書添削サービス
『AI 添削トレーニング』、3月販売開始！

株式会社増進会ホールディングス（Z会グループ）のグループ会社で、教育機関の支援事業を行う株式会社エデュケーションネットワーク（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：大久保忠志）は、2025年3月より、私立・公立高等学校内で導入できるAIを活用した小論文・志望理由書添削サービス「AI 添削トレーニング」の販売を開始します。

AI添削トレーニングなら

添削時間 **0分**

ゼロ分

総合型選抜
学校推薦型選抜
小論文・志望理由書に
特化！

添削に関わる先生の負担もゼロにしませんか？

2時間* → 0分

先生による添削 AI添削トレーニング導入後

※「2024年9月 全国の私立中学校、高校の教員様200名を対象としたアンケート結果」【当社調べ】より「総合型選抜や学校推薦型選抜を利用する生徒の答案添削に、1週間とどれくらいの時間がかかりますか？」の回答内容から平均時間を算出

弊社オリジナルのAI添削システム

2023年度 私立学校での講座運営実績 **90校以上**

20年以上の教材制作実績

教材取扱点数 **2,300点**

※2025年1月現在

AI添削 + 専門講師のチェック + 弊社スタッフのチェック = **トリプルチェック 最短返却 72時間**

※実施時期や人数により、返却までの時間が異なる場合があります。

「AI 添削トレーニング」開発の背景

「AI 添削トレーニング」は、学校現場の先生たちの声から生まれた、小論文・志望理由書の添削に特化したサービスです。大学入試の形態が大きく変わり、私立大学の募集人員のうち、総合型選抜や学校推薦型選抜といった「年内入試」が約半数を占める中(※1)、小論文試験を受ける生徒や志望理由書の提出を必要とする高校生が多くいます。

一方で、小論文や志望理由書の添削には時間がかかるため、「時間の捻出が難しい」「添削の人手が不足している」という私立中学・高校教員は7割を超えています(※2)

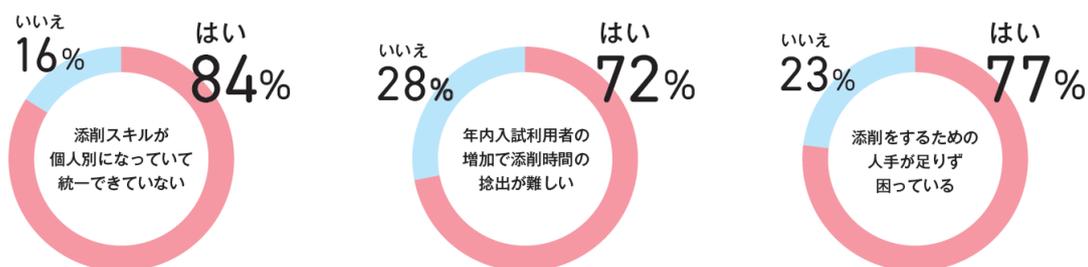
「AI 添削トレーニング」は、AI が添削を担うことで学校の先生方の業務を軽減し、生徒一人ひとりにスピーディな答案返却が可能です。

※1…文部科学省「令和5年度大学入学者選抜の実態の把握及び分析等に関する調査研究」より

※2…「2024年9月 全国の私立中学校、高校の教員様 200名を対象としたアンケート結果」(当社調べ)より

全国の先生方のお困りごと

「2024年9月 全国の私立中学校、高校の教員様 200名を対象としたアンケート結果」(当社調べ)



「AI 添削トレーニング」の特長

◇ 教育専用 AI が、最短 72 時間で添削を返却

本サービスで使用する AI は、長年教育現場の支援を行ってきた当社の豊富な経験と実績を基に独自に開発しました。的確でスピーディな添削により、AI による添削～専門講師・専門スタッフの確認をした上で、最短 72 時間でオンライン返却が可能です。

添削の流れ

STEP01 答案作成

マイページ(ブラウザ上)にて、課題に対しての答案を生徒が入力し、提出します。(紙面での提出はありません。)

STEP2 添削期間

AI による添削を実施します。添削実施後は、専門講師と当社専門スタッフが添削結果を確認の上、マイページ上で返却します。

STEP3 答案返却

マイページ上で添削結果を確認します。その後、次回の課題に取り組みます。(紙面での返却はありません。)

STEP
01

答案作成

マイページ(ブラウザ上)にて
課題に対しての答案を
入力、提出

STEP
02

添削期間(3日~)

AIによる添削を実施。
実施後は講師が添削結果を
確認の上、マイページ上で返却

STEP
03

添削返却

マイページ上で
添削結果を確認の上、
次回の課題に取り組む

◇ AI+専門講師・スタッフによるチェック

AIが添削した内容は、専門講師と当社の専門スタッフが確認してから返却します。当社グループで培った添削基準や安全基準を元に作成しているため、AI添削システムのフィードバック内容の適切さや安全性も担保されており、安心して導入いただけます。

◇ 入試本番に自分の言葉で文章を書くための添削指導

本サービスでは、誤字脱字などの表記面のほか、記載内容についても項目ごとに評価を行います。

返却時は、評価とともに、模範解答ではなく「アドバイス」を記載します。添削内容は当社グループの知見を活かしたプロンプトにより作成しています。的確なアドバイスにより、生徒が自分の力でよりよい解答を考えリライトするよう、導きます。

AI添削トレーニング
School name 12345678 生徒氏名 [ログアウト](#)

添削結果

提出日時：2025年01月20日 02:11

⏪ 課題：自分の好きなことを仕事にすべきであるか

「自分の好きなことを仕事にすべきである」という意見に対して、あなたはどのように考えますか。

提出した文章 808字

「自分の好きなことを仕事にすべきである」という意見に対して、私は賛成の立場を取ります。好きなことを仕事にすることで、やりがいや自己実現を感じられるだけでなく、長期的な成長や社会への貢献にもつながると考えるからです。まず、好きなことを仕事にすることで、強いモチベーションを保ちやすくなります。人は、自分の好きなことに対して自然と熱心になり、努力を重ねる傾向があります。たとえば、絵を描くのが好きな人がイラストレーターになれば、仕事を楽しみながら新しいスキルを身につけることができます。このように、好きなことを仕事にすることで、専門性が高まり、結果的に高い成果を生むことが可能です。

また、好きなことを仕事にすると、自己表現を達成しやすくなります。自己実現とは、自分の能力や才能を最大限に発揮することを指します。たとえば、私は中学生の頃から人をまとめるのが好きで、学級委員長としてクラスを引っ張る経験を積んできました。この経験を通じて、人と関わり合いながら目標を達成することにやりがいを感じました。将来、これを活かせる職業に就けば、より充実した人生を送れると確信しています。

一方で、好きなことを仕事にすることには注意が必要です。好きなことが義務になることで、楽しさが失われる可能性があるからです。しかし、これを防ぐためには、仕事とプライベートを明確に分けることや、自分の成長を意識する姿勢が大切です。たとえば、趣味として楽しむ時間を確保し、好きなことへの情熱を保つ工夫をすることで、長く続けられるようになります。

以上の理由から、私は「好きなことを仕事にすべきである」という意見に賛成します。好きなことを仕事にすることで、やりがいを感じながら成長し、社会に新しい価値を提供できると考えるからです。人生は一度きりであり、好きなことに時間を費やすことは、幸福な人生を送るための重要な

5段階評価 **総合評価：B**

表記: B

内容: A

添削結果

全体的な評価
この小論文は、序論・本論・結論の三部構成を適切に用い、論理の展開が明確です。主張は冒頭で明示され、結論でも再提示されており、一貫性があります。また、具体例や注意点を取り入れたバランスの取れた内容になっています。ただし、議論の深みを増すために社会的視点を加える余地があります。また、一部の表現が抽象的で説得力がやや不足しているため、より具体的な記述が望まれます。

1. 全体の構成が整っているか
[評価] A
理由: 三部構成が明確であり、論の展開がスムーズです。
修正提案箇所1: 2段落目[「このように、好きなことを仕事にすることで、専門性が高まり…」]
コメント: 専門性が高まる過程をもう少し具体的に述べると説得力が増します。たとえば、「専門性が高まった事例」を具体的な職業やスキル習得の場面で示すと良いです。
修正提案箇所2: 3段落目[「将来、これを活かせる職業に就けば…」]
コメント: 「これ」とは何を指すのかを明確にしてください。「リーダーシップや協調性を活かせる職業に就けば」と書くことで、具体性が増します。
修正提案箇所3: 4段落目[「好きなことが義務になることで…」]
コメント: 注意点として「楽しさが失われる可能性」以外にも「経済的安定性や市場の需要が課題になる」ことに触れると、議論がより広がります。

[Top](#)

「AI 添削トレーニング」の活用例・活用シーン

活用例① 小論文対策の入門として

対象：高校 1・2 年生（学年全体）
講座設計：講演会 + 「AI 添削トレーニング」

大学入試での活用が広がる小論文対策の入門として、高校 1・2 年生に向けた学年全体での講演会と組み合わせでお使いいただけます。講演会は「小論文の書き方の基礎」など、学校のニーズに合わせた内容で、当社登録の予備校講師（小論文担当）が行います。

活用例② 入試対策講座として

対象：高校 2・3 年生（希望者）
講座設計：予備校講師による小論文対策授業 + 「AI 添削トレーニング」

総合型選抜・学校推薦型選抜対策として、専門の予備校講師による対面での小論文対策授業と、「AI 添削トレーニング」での添削指導を組み合わせた講座です。高校 2 年生からの通年講座や、高校 3 年生の 1 学期～夏休みにかけての短期講座など、学校のニーズに合わせた講座設計が可能です。

商品概要

サービス名称: AI 添削トレーニング

販売時期: 2025 年 3 月 3 日(月)

対象: 全国の私立・公立高等学校

推奨環境: <PC> OS: Windows10 以降 / Mac OS11 以降 ブラウザ: Google Chrome 最新版 / Safari 最新版

<タブレット> OS: iPadOS14 以降 / Android8 以降 ブラウザ: Google Chrome 最新版 / Safari 最新版

株式会社エデュケーショナルネットワーク会社概要

株式会社エデュケーショナルネットワークでは、全国の学校、学習塾等の教育機関を顧客として、教材、テストの販売および教職員の派遣等、幅広い教育支援サービスの提供を行っています。

所在地: 東京都千代田区神田猿楽町1丁目5-15

代表者: 代表取締役社長 大久保忠志

設立: 2003 年 5 月 12 日

URL: <https://www.e-network.jp>

【本サービスに関するお問い合わせ先】

株式会社エデュケーショナルネットワーク ソリューション事業本部

東日本営業部学習サポート課: 03-6281-7348

西日本営業部学習サポート課: 06-6949-9304

(平日 9:30~18:00)